

2019年10月23日

PGF生命
〔 プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル
生命保険株式会社 〕

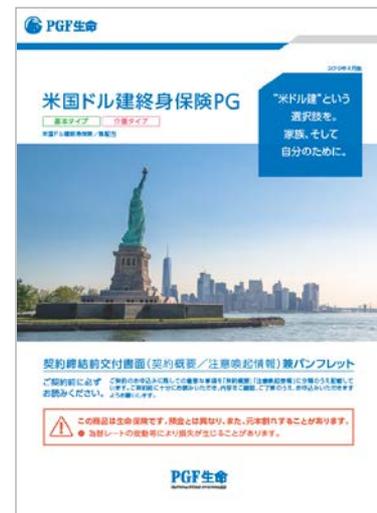
UCDAアワード 2019 特別賞を受賞

PGF生命（プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社、代表取締役社長兼 CEO 阪本 浩明）は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会*が主催する「UCDA アワード 2019」の生命保険分野 窓口販売用商品のパンフレット部門において、「特別賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

「UCDA アワード」とは、企業（団体）・行政が生活者に発信するさまざまな情報媒体を、産業・学術・生活者の「集合知」により開発した基準を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。今回は、当社の主力商品である米国ドル建終身保険のパンフレットが特別賞を受賞しました。

【受賞理由】

- ・文字の見やすさが高齢者から高評価
- ・余白を生かしたレイアウトで各ページの目的がわかりやすい
- ・全体に統一感あるデザインは視認性が高く読みやすい



当社はこれまでも UCDA 認証の取得のほか、2016 年には「生命保険契約申込書（紙媒体）」部門において「情報のわかりやすさ賞」を受賞しております。また、2017 年より「お客さま本意の業務運営に関する方針」を制定・公表し、その取り組みの一つとして「重要な情報のわかりやすい提供」を掲げ、お客さまに重要な情報を十分にご理解いただくため、「見やすく、わかりやすい」説明資料となるよう各種帳票の文字の大きさや表示形式、記載内容等を随時改善する取り組みを進めています。

今後も、個々のお客さまに最適な保障を提供するため、お客さまに有益な情報や商品理解に必要な情報をわかりやすく提供できるよう、引き続き取り組んでまいります。

*「一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（UCDA）」は、2007 年任意団体として設立（2009 年 11 月に一般社団法人化）。視覚情報伝達の領域に、人間中心設計の考え方を導入。生活者の生命・財産に関わる金融コミュニケーションの分野を中心に、第三者機関として「わかりやすさ」の認証制度を行っています。産業・学術・生活者の第三者による研究および評価・改善活動で情報の伝達効率を向上させ、発信者である企業・団体と、受信者である生活者、双方の利益に資することを目指しています。